

平成21年度における県及び関係団体の取組

資料 3-1

全体予算額 661,054千円

1 県の取組

I 食を通じて健康な体をつくるために
14事業 90,570千円

子ども食育推進事業費
1,465千円

- ・元気な朝ごはんプロジェクトの実施
- ・早寝・早起き・朝ごはんキャンペーンの実施
- ・市町村における「愛知を食べる学校給食の日」の推進

健康長寿あいち推進事業費
30,124千円

- ・全世代にわたるメタボリックシンドローム対策の推進
- ・あいちヘルシーネットの構築、一部運用
- ・健康長寿あいち県民運動の推進

食育推進協力店登録事業費
2,208千円

- ・食育推進協力店による、外食栄養成分表示を含めた、健康や食育全般に関する情報提供の実施
飲食店自身が定める栄養成分表示基準により食育推進協力店として登録
「食事バランスガイド」を食育推進協力店のロゴとして使用

農林物産品質表示適正化指導費
4,604千円

- ・JAS法に基づく食品表示の普及啓発（研修会の開催、リーフレットの作成）
- ・食品表示状況の点検、指導（遵守状況調査、食品表示ウォッチャーの設置）
- ・食品の適正表示強化月間における監視、啓発の強化
- ・「食品適正表示の日」の普及啓発

食の安全・安心推進事業費
8,059千円

- ・食の安全・安心講習会（仮称）、食の安全・安心地域フォーラムの開催
- ・食品営業施設へのHACCP（食品の製造工程ごとの危害分析を基に、重点的に管理すべき工程を連続的に監視する衛生管理の手法）導入による自主管理体制を強化
- ・輸入食品を始めとする加工食品の残留農薬の検査体制の強化

II 食を通じて豊かな心を育むために
5事業 8,417千円

「農業の先生」推進費
3,092千円

- ・小中学生への農林水産業の現状や技術を紹介するための出前講座の実施

あいち食育サポート企業団との連携事業
321千円

- ・小学校高学年生と保護者を対象にした親子食育教室の実施
食生活の課題、食品と健康、食品リサイクルなどについて県職員や企業の研究者等から講義
食品の製造・加工・流通場面の体験

・家庭等から排出される廃食用油からバイオディーゼル燃料の精製など、ごみの燃料化事業に関する市町村の取組状況を調査し、ごみ再資源化への方策を探る。

<p>Ⅲ 食を通じて環境に 優しい暮らしを築くた めに</p> <p>12事業 30,685千円</p>	<p>ごみ減量化対策事業費 734千円</p> <p>地産地消推進事業費 10,217千円</p> <p>食と緑普及啓発事業費 6,989千円</p>
<p>Ⅳ 食育を広めるため に</p> <p>10事業 531,382千円</p>	<p>栄養教諭の配置 508,746千円</p> <p>あいち食育推進事業費 8,232千円</p>

- ・「いいともあいち運動」の展開
- ・学校給食・社員食堂における地産地消の推進
- ・米粉の利用コンテストの開催

・「ふるさと農林水産フェア・秋」の開催（吹上ホール：11月）

・小・中学校、特別支援学校における栄養教諭の配置拡大 67名→72名

- ・食育推進シンポジウムの開催（豊橋市：10月）
- ・愛知県版食育検定の実施
- ・食育推進ボランティアの育成及び活用
- ・協賛企業、名古屋市と共同でラジオ放送による食育の普及啓発の実施
- ・普及啓発資材の作成